



由比本陣公園 20 周年特別企画 館藏品・田邊哲人コレクション展

江戸と明治の天才 広重×香山

- 世界が絶賛した浮世絵と幻のやきもの -

2014 年 9 月 13 日（土）～ 11 月 16 日（日）

Part1：2014 年 9 月 13 日（土）～ 10 月 13 日（月・祝）

Part2：2014 年 10 月 15 日（水）～ 11 月 16 日（日）

展覧会名：江戸と明治の天才 広重×香山 - 世界が絶賛した浮世絵と幻のやきもの -
会 期：2014年9月13日（土）～ 11月16日（日）
Part1：2014年9月13日（土）～ 10月13日（月・祝）
Part2：2014年10月15日（水）～ 11月16日（日）

主 催：静岡市、静岡市東海道広重美術館 指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト
協 力：神奈川県立歴史博物館、公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
後 援：静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、だいいちテレビ、テレビ静岡

由比本陣公園、静岡市東海道広重美術館は本年9月で20周年を迎えます。

この節目の年を記念し、当館所蔵品を代表する『木曾海道六拾九次之内』、『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）と共に、田邊哲人コレクションより真葛焼の数々を一挙公開いたします。海外の芸術家や収集家に愛された浮世絵版画と、輸出品として海を渡り「幻のやきもの」として近年注目を浴びる真葛焼。世界が絶賛した名品の競演に、ぜひご期待ください。

特設ウェブサイト：http://tokaido-hiroshige.jp/20th_anniv/

■由比本陣公園 20周年に寄せて

平成26年9月をもちまして、東海道広重美術館は開館20周年を迎えました。

この間、地域の皆様と、浮世絵を愛する多くの方々に支えられながら、様々な文化・芸術を発信して参りました。

当館と共に歩んでこられた皆様に、この場をお借りし、厚く御礼申し上げますとともに、これからも静岡市の文化・芸術の担い手として、更なる発展を目指し、末永くお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

静岡市長 田辺信宏



「けだし見るものその値を問わず購入せしめんとす…。」

当時の報道にそのようにあった。明治初期、開港に沸く日本。長い鎖国からときはなされ世界の文明の中で「ジャポニズム」という崇敬の念をもって評価された「真葛香山」。しかし当時マクズの作品は日本に無く海外の博覧会から世界に散っていった。約1500点、これを海外より日本に引き戻すのに大変な労力と40年の歳月を費やしてしまった。

今、ここに由比の広重美術館と元町長望月俊明市議のお力添えで、その一部を皆様には御覧いただける事となり有難く御礼を申し上げます。

田邊哲人



■ 展覧会の見どころ

■ 世界で数点しかない浮世絵を展示！

通称「雨の中津川」と呼ばれるこの作品は、世界に数点しかないとされ、そのうち一点が当館に所蔵されています。空一面を覆う黒いぼかしが、どんよりとした重い雨の景を表現しています。後に制作された、晴れの景色を描いた同名の『中津川』は、大量に刊行されました。

二種の『中津川』を含む揃物『木曾海道六拾九次之内』はPart1（2014年9月13日～10月13日）で展示いたします。

歌川広重
『木曾海道六拾九次之内 中津川』



■ 江戸で大人気だった由比を描いた一枚！

当館のある由比に位置する「薩埵峠」は、富士を望む景勝地としても知られ、今でも広重が描いた風景とほぼ同じ景色を望む事ができます。本作は『東海道五拾三次之内』の揃物の中で最も売れた一枚とも言われています。

『東海道五拾三次之内』はPart2（2014年10月15日～11月16日）で展示いたします。

歌川広重
『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』



■ 超絶技巧！高浮彫の世界

初代宮川香山が横浜で工房を設け、欧米諸国へ向けて制作した輸出陶磁器が眞葛焼の始まりです。立体的な装飾を器に取り付けた高浮彫の技術と釉薬による多彩な表現は、当時、見るものを惹きつけ、人々は値を問わず購入したと言います。眞葛焼は全期を通し展示いたします。



初代宮川香山
『高浮彫牡丹に眼猫覚醒蓋付水指』
田邊哲人コレクション（神奈川県立歴史博物館保管）

■ 出品作品

※展示内容及び出品作品は都合により変更となる場合がございます。

【Part1】

歌川広重 溪斎英泉 『木曾海道六拾九次之内』全 71 点

【Part2】

歌川広重 『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）全 55 点

【Part1 / Part2 共通】

初代宮川香山 眞葛焼（田邊哲人コレクション）16 点

■作品介绍：歌川広重 / 溪斎英泉作品

Part1

『木曾海道六拾九次之内』

『木曾海道六拾九次之内』は、中山道の風景を歌川広重と溪斎英泉が描いたシリーズです。東海道と並ぶ二大街道のひとつ「中山道」は、木曾路を抜けるため別称「木曾街道」と呼ばれていました。明るい色合いの『東海道五拾三次之内』と対照的に、月の景色など落ち着いた作品が多いのが特徴です。



歌川広重『木曾海道六拾九次之内 洗馬』

洗馬宿の西を流れる奈良井川を、芝を積んだ舟と筏が下っていきます。秋の風が葦と柳を揺らし、空には青白い光を放つ満月が浮かんでいます。季節の情緒を巧みに捉えたこの作品は、広重屈指の名作といわれています。



溪斎英泉『木曾街道 塩尻嶺 諏訪ノ湖水眺望』

諏訪湖が凍って、昼夜の温度差により氷が膨張すると、轟音と共に氷が裂けて盛り上がります。この現象は「御神渡」と呼ばれ、諏訪神社上社の男神が、下社の女神のもとに通った道だといわれています。



歌川広重『木曾海道六拾九次之内 軽井澤』

焚火の煙が背後の樹木と、キセルで一服する旅人を明るく照らし出しています。馬の脇に付けられた小田原提灯には「いせ利」と書かれており、これは版元「錦樹堂（伊勢屋利兵衛）」の別称です。

■作品介绍：歌川広重作品

Part2

とうかいどうごしゅうさんつぎのうち
『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）

『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）は、「名所絵師・広重」の名を一躍広めた大出世作です。広重三十七歳の頃に制作されたこのシリーズは、四季や気象の変化を巧みに織り込んだ街道や宿場の風景描写が評判を呼び、人気を博しました。東海道にある五十三の宿場に、出発地点である日本橋と到着地である京都を加えた全 55 作品の揃物です。



歌川広重『東海道五拾三次之内 原 朝之富士』

朝日に照らされてほんのり赤くなった秀麗な富士と、ゴツゴツした愛鷹山が対比的に描かれています。広重は富士の高さを強調するため、画面の枠から山頂を突き出して描きました。



歌川広重『東海道五拾三次之内 箱根 湖水圖』

険しい山々が連なる東海道随一の難所・箱根峠を大名行列が下っていきます。芦ノ湖の周りを低い山々を取り囲み、遠景には富士の姿が見えます。湖畔には関所が設けられ、特に女性に対する改めが厳しく行われました。



歌川広重『東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪』

蒲原は温暖な土地で、豪雪地帯ではありませんが、広重は取敢えて雪を降らせて寒村の雪景色として仕上げました。菅傘を被り蓑や合羽を着て縮こまった二人組と、杖をついて番傘を半開きにした老人がすれ違う情景はこの揃物中の名作といわれています。

■作品介绍：初代宮川香山^{みやがわこうざん}作品

Part1 / Part2 共通

まくずやき
眞葛焼

眞葛焼は、開港後まもない横浜で、京都の陶工・初代宮川香山（1842～1916）によって始められたやきものです。香山は後に^{ていしつぎやいん}帝室技芸員となり、明治期の陶芸界を牽引します。江戸時代から続く^{とうじ}陶磁技術を背景に、西洋文化を吸収して新たな美を生みだした眞葛焼は、万国博覧会で世界的な人気を博しました。その後眞葛焼は、二代～四代と引き継がれますが、横浜大空襲の被害を受けて途絶えてしまったことから「幻のやきもの」といわれます。

本展覧会では、田邊哲人氏のコレクションから、華麗な装飾が見どころの^{たかうきぼり}高浮彫作品を中心に、16点を展示いたします。



初代宮川香山^{たかとりゆうわたりがにすいぼん}『高取袖渡蟹水盤』
田邊哲人コレクション（神奈川県立歴史博物館保管）



初代宮川香山^{たかうきぼりぐんきゆうひらいかびん}『高浮彫群鳩飛来花瓶』
田邊哲人コレクション（神奈川県立歴史博物館保管）

プロフィール

たなべてつひと
田邊哲人（1942～）

静岡市清水区由比出身。近代陶磁の研究者・収集家。

40年以上にわたり、眞葛焼を中心とした明治期陶磁のコレクションをおこなう。

スポーツチャンバラの創始者として、平成26年春^{らんじゆほうしょう}藍綬褒章受章。

■関連企画

■関連企画 1 / 20周年記念講演『横浜開港と眞葛焼』

[講師] 田邊哲人

[日時] 9月13日(土) 11:00~12:30
10月11日(土) 13:30~15:00

[参加費] 無料(入館料別途)

[定員] 各日 35名 ※要事前申込み

[申込み] お電話(054-375-4454)またはWEBサイトにて申込み / 先着順 ※定員になり次第受付を終了します

■関連企画 2 / 浮世絵セミナー『江戸時代の旅』

[講師] 岩崎均史(練馬区立石神井公園ふるさと文化館 館長)

[日時] 10月25日(土) 13:30~15:00

[参加費] 無料(入館料別途)

[定員] 35名 ※要事前申込み

[申込み] お電話(054-375-4454)またはWEBサイトにて申込み / 先着順 ※定員になり次第受付を終了します

■関連企画 3 / 浮世絵版画の実演&摺り体験ワークショップ

版元として、江戸時代の技法を今に継承する公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団による、浮世絵版画制作の実演と体験ワークショップ。お子さまから大人までご参加いただけます。

[講師] 公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

[日時] 10月19日(日) 午前の部 11:00~12:30
午後の部 14:00~15:30

[参加費] 無料(入館料別途)

[定員] 摺り体験:各部 15名 ※要事前申込み

[申込み] お電話(054-375-4454)またはWEBサイトにて申込み / 先着順 ※定員になり次第受付を終了します

■関連企画 4 / 当館学芸員によるギャラリートーク

[日時] Part1 / 9月21日(日) 13:00~13:30『木曾街道六拾九次之内』
Part2 / 10月26日(日) 13:00~13:30『東海道五拾三次之内』(保永堂版東海道)

[参加費] 無料(入館料別途)

※当日当館エントランスホールにてお集まりください。(申し込み不要・定員制限無)

9月13日(土)は由比本陣公園20周年記念セレモニーを開催いたします。

※詳細は当館WEBサイトをご覧ください。

■美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、東海道 16 番目の宿場・由比宿の本陣跡地に建ち、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）をはじめ、『木曾海道六拾九次之内』、『名所江戸百景』など、風景版木の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。江戸時代から現代まで、世界中で愛される浮世絵版木のすばらしさをお楽しみください。



広重について

歌川広重 (1797 - 1858) 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊広に入門。後に豊広の「広」と本名の一字から画号を広重とし、37 歳頃に保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となります。その後も東海道や江戸の風景を描いた浮世絵版木を次々と制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。



三代歌川豊国『広重死絵』

開催時間 : 午前 9 時～午後 5 時 (入館は閉館の 30 分前まで) ※9 月 13 日 (土) は午前 10 時 30 分開館
休館日 : 毎週月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館) ※9 月 12 日 (金) は展示入替のため臨時休館
入館料 : 一般 510 円 (410 円) / 大学生・高校生 300 円 (240 円) / 中学生・小学生 120 円 (100 円)

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 才以上の方は無料 ※身体障害手帳等をご持参の方及び介助者は無料
※ () は 20 名以上の団体料金
※平成 26 年 4 月 1 日より入館料が変更となりました。

主催 : 静岡市、静岡市東海道広重美術館 指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト
協力 : 神奈川県立歴史博物館、公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
後援 : 静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、だいいちテレビ、テレビ静岡

静岡市東海道広重美術館 SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

〈電車をご利用の場合〉

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

〈お車をご利用の場合〉

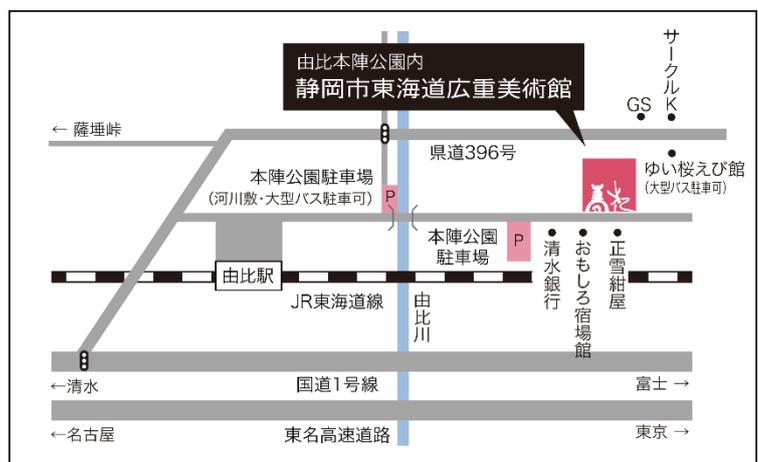
美術館無料駐車場 21 台 (由比本陣公園駐車場)

[大阪・名古屋方面から]

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号経由約 20 分

[東京・横浜方面から]

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号経由約 25 分



本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

静岡市東海道広重美術館 Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

■広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記5点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。

1



2



3



4



5



□作品名およびクレジット

- | | |
|----------------|--|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重 | 『木曾海道六拾九次之内 中津川』静岡市東海道広重美術館 蔵 |
| 3. 歌川広重 | 『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』静岡市東海道広重美術館 蔵 |
| 4. 初代宮川香山 | 『高浮彫牡丹に眠猫覚醒蓋付水指』田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史博物館保管) |
| 5. 初代宮川香山 | 『高取釉渡蟹水盤』田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史博物館保管) |

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等にご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

江戸と明治の天才 広重×香山

- 世界が絶賛した浮世絵と幻のやきもの -

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ
2. 歌川広重 『木曾海道六拾九次之内 中津川』
3. 歌川広重 『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』
4. 初代宮川香山 『高浮彫牡丹に眠猫覚醒蓋付水指』
5. 初代宮川香山 『高取釉渡蟹水盤』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等にご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙を E メール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CD などお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp